茅野市ボランティア・市民活動センター情報紙

NO.245





2013年4月1日



3月14日と21日に開催をしたシャララカレッジ『笑顔が増えるイキイキ生活のコツ』では、信濃町から兼重尚子さんを講師に迎え、たくさん話して、たくさん聞く、参加型のプログラムを通じてイキイキ生活を送るヒントを学びました。

受講動機は「自由な時間が持てたので活かしてみたい」「新しいことにチャレンジしてみたい」と様々でしたが、講座を通じて「新しい自分を発見することができた」「自分が何を望んでいるか、整理できれば行動に移せる」「改めて、笑顔って素敵だなって思えた」と、終始笑顔で学んでいただきました。

新生活の始まる4月、笑顔で良いスタートを切りましょう!

私たちのまち ボランティア市民活動のちから

ボランティア 市民活動 センター 一 身近にあるボランティア・市民活動を支える仲間を紹介します

今回は、昨年からボランティア・市民活動センターの運営委員を務めている田中正尋さんに、市内の小・中学校で開催される出前福祉教室に寄せる想いを寄稿していただきました。





小学生の感想文

私はこれまで、耳が聞こえない人に会ったことが ありませんでした。なので、耳が聞こえないことを考 えたり想像したりすることがありませんでした。遠い 所に住んでいる人のイメージがありました。

だけど、玉川に住んでいる田中さんが来て下さる と先生から聞いて、初めて近くに耳が聞こえない 人がいるんだなあと思いました。

聞こえないと困ることってどんなことだろう?考えると沢山困ることが出てきました。こんなにあってどうやって生活しているんだろう?と思い、質問したり話を聞く日が待ち遠しくなりました。

講座を習得した児童は、帰宅した後、家族に覚えたての手話を得意気に披露し伝えてくれます。理解の輪が、児童を介して家族に広がる。これは予想外のことで、喜ばしいことです。

ほとんどが一回限りの講座ですが、1 年生の時から5年間継続して交流を続けているクラスがあります。校内探検、調理実習、植樹等、児童達が企画をし、一緒に楽しませてもらっています。

この子達が将来、どう成長していくかとても楽しみです。純粋な子どもの時期に障害者に接し、交流することにより、構えず、自然に障害者を受け入れる大人になって欲しいと、願っています。

幼い時から福祉体験を!

私は、先天性聴覚障害者です。聞こえなくても誰かの役に立つことがあるとの思いで、「出前福祉教室」の外部講師を務めています。

初めての出前福祉教室は、高校の「福祉の日」で した。全校生徒対象で聴覚障害者主演による日常生 活を描いた映画鑑賞。そして障害者自身の経験を聞 いてもらいました。

講座の間、雑談したり、質問を無視されたり、一度は我慢できずに怒鳴ったことがあります。しかし、後で送られてきた感想文を拝見すると、皆良い想いを持っているのに、なぜ素直に自分を表現できないんだろうと感じたものですが、講座をきっかけに教職員の方々、PTA、地域の皆さんとの繋がりができ、2年、3年と続けるうちに、学校の雰囲気が変化してきました。

高校生の感想文

話を聞いている時に自分は色々考えました。 もし自分も耳が悪かったらどんな感じなんだろう、 音の無い中で生きてくのってすごく大変 だろうなと色々思いました。 そんな中、 こうしてしっかりと前に立ってお話をしてくれてる日 中さんを見て、 田中さんは今までいろんな思 に助けてもらって今の田中さんがあるのだと思いました。 自分もいろんな人に助けてもらい、 今まで生きてこれたんだと思いました。 すごい ことです。 改めて人ってすごいなと思いました。

その後対象者は小学生になり、毎年、人権週間 (12月上旬) 前後に講座が集中します。期間限定でなく、通年で交流できれば良いなと感じています。

内容はゲームやクイズを織り交ぜて楽しみながら、障害者の日常生活、接し方等を話していますが、1 回 45 分~ 60 分の時間内では理解してもらうことが難しいと感じます。しかし、児童は児童なりに考えてくれていることが実感できます。



シャララ・ほっとサービス

の協力会員になりませんか

高齢者や障がいをお持ちの方、子育て中のご家庭など、日常生活でちょっと誰かの 手助けが必要になった時、会員同士の「お互いさま」の気持ちを大切にした助け合い の活動がシャララ・ほっとサービスです。

日常生活において援助を必要とする方々に対し、空いている時間とちからを提供していただける方々を協力会員と呼びます。

協力会員は、食事づくりや住居の掃除、生活必需品の買い物、病院の付き添い、そして「子どもを見てほしい」など子育て支援のお手伝いもお願いしています。

仕事が一段落した男性、女性、またはご夫婦で…今、子どもたちに関わっている方、 これから関わりたいなと思っている方などなど、どなたでも大歓迎です。協力会員 として活動していただくと、1時間あたり700円程度が支給されます。

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

30 分ほど説明をさせていただきますので、ご都合の良い日時をあわせてご連絡ください。



【問合せ・申込み先】

社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会 〒391-0002 茅野市塚原二丁目5番45号 TEL 73-4431 [午前8時30分から午後5時30分まで] 《担当》 木下

H25 年度

ボランティアグループ活動助成金

説明会を開催します

ボランティアグループの活動は、まちづくりにおいてとても大切です。けれども、その資金が足りないために活動を断念してしまう…というようなことがないように、みんなで支え合おうと平成11年に出来た助成金制度です。

この助成金は、地域の皆様から寄せられる、ご寄付などにより成り立っています。 本助成金交付の申請を予定している登録グループは必ずご出席ください。

開催日 4月11日(木)

昼の部:午後1時30分から

夜の部:午後7時から

◎ ご都合の付く時間帯のどちらかに、ご参加ください

会 場 茅野市総合福祉センター 3階 第1会議室

4月の主な予定 総福祉センター使

第1・3(金)まほうのことば(手話学習V第1・3(月)かにさん(収集整理V)

4 (火) 要約筆記ひまわり 4 (水) 手話ダンス千の風 4 (木) どさゆさ (演歌体)

(要約筆記V

お父さん お母さん

おじいちゃん おばあちゃん 関心のある方どなたでも!

(木) どさゆさ (河歌体操V) (本) エンジェル絵手紙の会 (絵手紙V)

第 2

週

永

(金) すずめのお宿(いきいきサロン(水) 八ケ岳泉龍太鼓(木) 傾聴パートナー「あ・うん」(大) でっこいしょ喫茶《どっこいし

8 目

Ĥ

Ħ

かにさん(絵手紙)ひだまり(傾聴V)

17 16 12 11

日日

*

ボランティアグル

ープ活動助成金説明会

日日

水火金

ひざしの会(テープ吹き込み) 茅野市ボランティア・市民活動センター運営委員会ボランティア・市民活動センター運営委員会パーキンソン病からの贈り物の会

日日

金木

金

日

主

あわせの喫茶店しゃべ~る

スタッフ 募集

茅野子でも福祉教室 『四葉』

福祉とは『しあわせ』のこと。

子どもたちの心に"福祉の種"をまくことができたら…

そんな思いで『茅野子ども福祉教室』が始まったのは数年ほど前のことです。

ぜひ一度、お越しください。

次回の定例会…4月27日(土) 10:00~ 茅野市文化センター

(※直接お越しいただいて結構です。)

お問い合わせ先: 090-9354-2102(盛川)

ボランティア・市民活動センターにありがとう 《収集ボランティア「かにさん」が整理してくださいました》

(平成24年3月16日から平成25年3月12日分)敬称略

◎使用済み切手:原田キミ子、鮎沢す江子、矢花三男、寺島皓二、水代彰子、竹村千春、原文子、湯田坂重子、青木瑤子、伊藤房子、岡田瑠美子、小林優貴、小林ちえ、井出則子、神津悠子、守屋志づ代、立石陽子、永田エセ子、池田美智子、藤田小秋、唐木チエ子、菅原孝子、山本恵子、原ゆかり、丸茂伊一、小林政紀、矢崎純子、土橋ウメ子、辺見茂子、松原道子、山口久江、原田尚子、細川京子、河西憲一、伊東俊夫、堀田桜子、坂井富夫、高橋英二、河西まさ子、西村章、小平正八、熊澤優子、山脇、浜、矢島、㈱イースタン本社・総務・労働組合、NPO 法人サポートC、諏訪東京理科大学、両角仏壇、諏訪貨物、ニューモラル茅野、㈱サンテム、㈱ブレイン、菩提樹の会、わかばフィットネス、堀歯科医院、茅野おやこ劇場、茅野ライオンズクラブ、とちんぼく、八ケ岳泉龍太鼓保存会、五味歯科医院、「カマクロ、何マルコー、八十二銀行茅野支店、精明学園、諏訪中央病院、メイ美容室、らいちょうの会、茅野郵便局(本局)、芙蓉産業、㈱オーセンテック、㈱ホムズ技研、茅野市総務課・地域福祉推進課・中部 SC、縄文の湯、塩壺の湯、金鶏の湯、望岳の湯、健康管理センター、どっこいしょ広場、あすなろセンター

◎使用済みテレカ:飯山牧紀、精明学園 ◎ベルマーク:中柄房子、飯山牧紀 ◎ペットボトルキャップ: 石崎朱美・らな ◎団扇・キーホルダー:上田つをみ ◎牛乳パック椅子:鮎澤す江子 ◎朝顔の種: 湯田坂重子 ◎書き損じはがき:原文子、三ツ井まゆみ、小松春子、五味歯科医院、かにさん ◎B4 印刷用紙:井原清志 ◎カレンダー:芙蓉産業

※V・・・ボランティア V・G・・・ボランティアグループ の略